

浦ノ内 土佐鯛工房

平成25年度
高知県
産業技術功労表彰
受賞

坂本龍馬に倣い、
海援鯛で養殖業に
改革を起こします！



11月23日、県産業の振興・発展に尽くした人々の中で特に功績の優れた人に対し、高知県から贈られる産業技術功労表彰を、浦ノ内の土佐鯛工房（会長 中平英児さん）が、水産部門で受賞しました。

「今回の受賞は、餌・魚にこだわってきた、10年以上の地道な活動が評価され

たと思います」と、副代表の味元さん。
土佐鯛工房は、ブランド鯛「海援鯛」の生産者7名のグループ。海援鯛は、稚魚のときから、完全無投薬を徹底され、こだわりの海を汚さない配合飼料で育成されます。育った鯛は、見た目はきれいな桜色、美味しさも

歯ごたえ・身持ち・栄養価・旨みにおいて優れた数値（化学的に立証）を出しています。

また、土佐鯛工房では出荷において、鯛の姿・形・色・育成具合などを、独自の厳しい基準で選別し、合格したものだけを市場に送っています。育成履歴・健康状態をホームページで公開し、消費者に安心して食べ

てもらえるように情報提供も行っています。

土佐鯛工房

☎088・857・0355

<http://www.kaen-tai.com>

農林水産課 水産係

☎42・3591



いけすで、海援鯛を一匹ずつ丁寧に選別します

大谷の
クスノキを描いた
洋画3点の寄贈



高岡郡四万十町出身で、現在静岡県伊東市在住の洋画家、山川陽子さんが大谷のクスノキを描いた洋画3点を、須崎市に寄贈くださいました。

では、南小中学校校舎1階、市民文化会館2階、市役所市長室前にそれぞれ展示しています。

山川さんは武蔵野美術大学で洋画を学び、その後25年間のフランスでの創作活動を経て、現在伊東市にアトリエを設け、精力的に創作活動を続けています。

市民の皆さん、ぜひご鑑賞いただき、山川さんが描く二千年の悠久のときを生き抜いてきた巨木の生命力とその神秘に触れてください。

総務課 総務管財係

☎42・3791

これまでは自然の草花を中

心に描いてきました
が、厳しい自然の中
でたくましく生きて
いる巨木の生命力に
魅せられ、現在は巨
木の作品にも取り組ん
でいます。

寄贈いただいた

洋画3点について



市長室前に展示の作品名「2000年に抱かれて」